

# かがやき

命の大切さを実感させる教育プログラム



笠間市自殺予防教育指導マニュアル

平成24年3月

笠間市教育委員会

表紙の絵「君とみた夏」  
笠間中学校 3年 ほんごう ひろこ 本郷裕子

# かがやき

命の大切さを実感させる教育プログラム

## 輝く命を大切にできる子どもたちに

警視庁の統計によりますと、平成22年度中におけるわが国の自殺者数は、31,690人で、小中学生は83人でした。自殺者数は、1998年以来、毎年3万人を超え続けています。交通事故死者数の5倍以上になるほどの自殺者数の増加は、今や社会問題化しています。交通安全教育につきましては、これまで長い間、学校で、組織的、継続的に実施してきました。国を挙げての交通安全運動の取り組みもあり、交通安全教育は成果を上げてきています。しかし、自殺予防については、必要感を持ちながらも、学校、地域社会、会社等の事業所でも取り上げられないできました。「自殺」という非常に複雑な問題にどうアプローチするかが明確にされていないことが原因の一つと考えられます。このような状況の中で、国は、平成21年度に「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」（自殺予防マニュアル）を作成し、学校での自殺予防に関する指針・教師の取り組み等を提言しました。

笠間市教育委員会は、「生きる力」のねもとにある「命」を守ることが、児童・生徒のキャリア教育には不可欠であるという認識の基に、将来、自ら命を絶つということをしていない社会人の育成を目的として、指導資料を作成することにいたしました。国のマニュアルの趣旨を生かし、市内の各学校で「自殺予防」を視野に入れた授業を計画的・系統的に実施することで、児童・生徒が自他の生命を尊重し、自殺を回避できる態度や能力を育てる教育を構築し、将来にわたる「生きる力」の育成を目指したいと考えています。

この、「かがやき—命の大切さを実感させる教育プログラム—」は、新たに教育課程を導入することではなく、子どもたちと常に向き合っている学級担任が、「道徳」「学級活動」等で取り上げる指導資料として作成したものです。その学年で必ず取り上げることを前提としていますので、笠間市の子どもたちは、中学校卒業までに同じ内容を学ぶこととなります。むろん、取り上げる時期、取り上げ方等は、児童・生徒の実態に応じて異なってくるでしょう。しかし、本市の子どもたちが、このプログラムの学習を通して、生きとし生きるものの命を大切に思い、自分をかけがえの無い存在として自覚し、「苦しいときに相談する」「相談されたときには、適切な大人に知らせる」などのスキルを身につけて、社会に飛び立てることを心から願うものです。

さらに、指導する教職員がこの授業を計画・実施する中で、自らのメンタルヘルスに役立てることができるのではないかと期待しているところです。

最後になりますが、このマニュアルを作成するに当たり、一年間にわたり献身的にお力をいただきました作成委員の皆様にご心から感謝いたします。

平成24年3月24日

笠間市教育委員会教育長 飯島 勇

# 目次

---

	「かがやき」の活用にあたって	1
	笠間市の自殺予防教育のねらい	2
	年間指導計画	3
小学校・低学年	ぼく おにいちゃんになったよ	5
	わたしのたんじょう	9
	横断歩道で	13
	家ぞくのためにできること	17
	<b>コラム①</b> 自殺予防について、教師のできること・できないこと	21
小学校・中学年	みんなでジャンプ	23
	あたたかい言葉かけ	27
	～雨～ 星野富弘	31
	友だちのすてきなところを見つけよう	35
	<b>コラム②</b> 群発自殺	39
小学校・高学年	たった一つの命だから	41
	友だちから相談されたら	45
	「死」という言葉をどう受け止めますか？	49
	小惑星探査機「はやぶさ」～2592日間の旅～	53
	不安や悩みへの対処	57
	<b>コラム③</b> 「いのちの教育」と自殺予防	61
中学校	私はワタシ	63
	新しいクラスメートはどんな人？	67
	生きている・・・ということ	71
	「いじめ」気づいたらどうする！！	75
	「死にたい」という人がいたらどうしよう	79
	義足のスプリンター ～オスカー・ピストリウスの挑戦～	83
	未来に向かって	87
	<b>コラム④</b> 自殺系サイト	91
	参考資料	92

---

## 「かがやき」の活用にあたって

### ○しなやかに生きる人間の育成を目指します。

---

生と死に向き合い、命の大切さが実感できる指導を継続します。また、集団生活で大切な人間関係に関わることで、将来を見据えて前向きに生活することなども取り上げました。自分の命を大切に、困難なことがあっても負けずしなやかに生きていく人間の育成を目指してこのプログラムを実施します。

### ○児童・生徒にとって居心地のよい学級が基本です。

---

児童・生徒の学校生活の中心は学級です。道徳も学級活動も、学級担任が中心となって指導をします。児童・生徒間や教師との関係など、あたたかな人間関係のもとに指導が行われるようにすることが大切です。あたたかな人間関係の基本は、一人一人を大切にすることであり、集団生活の場では特に意識しなければなりません。

### ○年間指導計画に位置づけ、全学年でプログラムを実施します。

---

道徳と学級活動の年間指導計画に位置づけます。発達の段階に応じ、他教科・領域等との関連を図りながら系統的に指導します。全ての学年で必ず実施することで、自他の生命を慈しむ豊かな心を育むことができます。

### ○学級の実態に応じて、資料を活用できます。

---

学級には、様々な家庭環境で育った児童・生徒がいます。特に、自殺を取り扱う時には、実態に応じた指導や配慮が必要です。学級の実態や教師の経験などを踏まえて、資料を変更したり工夫したりすることも可能です。

### ○横断的・系統的な指導を意識することで補充・深化が図れます。

---

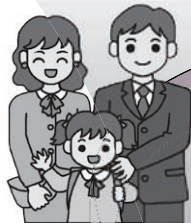
道徳や学級活動で取り扱った内容については、横断的・系統的な指導を心がけます。道徳的な心情や人間関係を構築する力、相談するスキルなどは機会を見つけて取り上げ、様々な教育活動の中で実践していくことにより育成することができます。

# 笠間市の自殺予防教育のねらい

～しなやかに生きる人間の育成をめざして～

## 小学校低学年 (小1・小2)

自分が愛されていることを自覚し、自分の生命を大切にする。



## 家族との ふれあい



## 小学校中学年 (小3・小4)

友だちと協力して生活し、自他の生命を大切にする。



## 小学校高学年 (小5・小6)

自己有用感を高め、自他の生命を尊重する。



## 友だちとの かかわり



## 中学校1年

自己の特性を理解し、よりよく生きようとする。

## 中学校2年

自他の存在を認め合い、共によりよく生きようとする。



## 社会への 巣立ち



## 中学校3年

自己実現をめざし、将来に向かって、しなやかに生きようとする。

子どもたちの生活の場は成長に伴って広がり、多くの人や出来事とのかかわりを通して、自分らしさ(=自己)を確立していきます。

# 自己の確立



# 年間指導計画

学年\項目	指導目標	道徳			特別活動(学級活動)		
		題材名	ねらい	指導時期	題材名	資質・能力・態度	指導時期
小学校1年	自分が愛されていることを自覚し、自分の生命を大切にします。	「ぼくおにちゃんになったよ」 4-(3)家族愛	自分は家族の中でかけがえない存在だと気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育てる。	10月～11月	わたしのたんじょう	○生命を大切に する気持ち ○家族への感謝する 気持ち	11月～12月
小学校2年		「横断歩道で」 2-(4)感謝	他者への感謝の気持ちを持ち、表現しようとする心情を育てる。	5月～6月	家ぞくのために できること	○家族に対する感謝 の気持ち ○自分のできることを 実践しようとする 心構え	6月～7月
小学校3年	友だちと協力して生活し、自他の生命を大切にします。	「みんなでジャンプ」 2-(3)友情・助け合い	お互いに理解し合い、助け合ってよりよい仲間集団を形成しようとする気持ちを育てる。	9月～10月	あたたかい言葉かけ	○相手を思いやるあ たたかい言葉かけ	6月～7月
小学校4年		「～雨～星野富弘」 2-(2)思いやり・親切	自分の周囲に対して思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。	6月～7月	友だちのすてき なところを見つけよう	○友だちのよさの発 見し認め合うこと	9月～10月
小学校5年	自己有用感を高め、自他の生命を尊重する。	「たった一つの命だから」 3-(1)生命尊重	生命について考え、自分の生命を大切に する態度や心情を育てる。	9月～10月	友だちから相談 されたら	○不安や悩みはだれ かに相談すること ○相談されたとき時 の対応	10月～11月
					「死」という言葉 をどう受け止めますか?	○死を意識するとと もに、命を大切に する気持ち	9月～10月
小学校6年		「小惑星探査機「はやぶさ」 ～2592日間の旅～」 1-(2)希望・夢の実現	困難なことに出会っても、勇気をもって自分の目標に向かって進んでいく態度を育てる。	1月～2月	不安や悩みへの 対処	○ストレスへの対処 方法を知る ○自分の身のまわりの サポーターの存在 に気づく	1月～2月
中学校1年	自己の特性を理解し、よりよく生きようとする。	「私はワタシ」 1-(5)個性の伸長	自己の特性を理解しよりよい自己を形成しようとする心情を育てる。	5月～6月	新しいクラス メートはどんな 人?	○新たな人間関係をつ くするため、お互 いを理解し合う。 (構成的グループ エンカウンター)	4月～5月
中学校2年	自他の存在を認め合い、共によりよく生きようとする。	「生きている…… ということ」 3-(1)生命尊重	生命の大切さについて考え、自他の生命を尊重する態度や心情を育てる。	5月～6月	「いじめ」気づ いたらどうす る!!	○ネットいじめの現 実を知る ○「いじめ」の傍観者 にならない心構え	6月～7月
					「死にたい」とい う人がいたらど うしよう	○「死にたい」とい う友だちがいたとき の対応	11月～2月
中学校3年	自己実現をめざし、将来に向かって、しなやかに生きようとする。	「義足のスプリンター～オスカー・ピストリウスの挑戦～」 1-(2)強い意志・高い目標	自分の個性と可能性を信じ、夢や目標をもって、これからの人生を粘り強くしなやかに生きていこうとする心育てる。	10月～11月	未来に向かって	○新たな自分のよさ や持ち前に気づく ○困難にぶつかった 時、柔軟に対処 していく心構え	6月～10月